



notionTM 6
■ ■ ■ ■ by PreSonus®

クイックリファレンスガイド

目次

世界各国のユーザーとつながり、 Notion について学ぼう	1
インストール	1
Notion のアクティベーションを行う	1
Notion ソフトウェアと組み合わせての使用に 最適な Notion for iOS	2
Notion のメインウィンドウ	3
ツールバー	3
ギター、ベース、その他のフレット楽器	4
入力パレット	4
スコアセットアップ	5
譜表や楽器を追加する	6
スコアエリア	7
ミキサー	8
バーチャル楽器	10
トランスポート	11
手書き	12
Studio One との相互運用性	14
ユーザー登録とお問い合わせ	16

世界各国のユーザーとつながり Notion について学ぼう

Notion は PreSonus のブランドです — 製品ラインアップ一覧について詳しくは、www.presonus.com をご覧ください。

ライブラリを拡張 — エキサイティングな Expansion Sounds について詳しくは、www.presonus.com/buy/stores/software をご覧ください。

Notion Music Forum — フォーラムでは、Notion Music 製品使用のヒントや音楽ハードウェア / ソフトウェアの最新情報など、さまざまなトピックが話題に上っています。

Notion ソーシャル — Facebook や Twitter でも最新情報をお届けしています。

blog.presonus.com

forums.presonus.com

www.facebook.com/Notionmusic

www.twitter.com/Notionmusic

サポート

ユーザーマニュアル(PDF)や YouTube チャンネルもぜひご利用ください。フォーラムで他のユーザーからアドバイスを得たり、ナレッジベースのリンクや MyPreSonus アカウントからサポートチケットを申請することもできます。Groove3.com の Notion チュートリアルシリーズや書籍「Create Music with Notion」(どちらも George Hess による) など、サードパーティが提供するリソースも利用できます。

ナレッジベース — support.presonus.com

フォーラム — forums.presonus.com

テクニカルサポートチケットを申請する — ユーザーアカウント my.presonus.com またはウェブサイト support.presonus.com から

ダウンロード

ソフトウェアを入手するには、提供されたプロダクトキーを使用して my.presonus.com でオンライン登録を行います。[新規ソフトウェアを登録] をクリックしてプロダクトキーを入力すると、ソフトウェアとサウンドのダウンロード用リンクがアカウントに自動で追加されます。また、お客様のアカウントに Notion マニュアル完全版およびクイックリファレンスガイドが追加されていますので参照ください。

インストール

ダウンロードした Notion ソフトウェアをダブルクリックし、画面上の指示に従います。言語を選択し、32 または 64-bit のどちらをインストールするかを選択します。

アクティベーション

インストールが完了したら、Notion のアクティベーションを行うか、Notion をデモモードで使用するかを選択できます。アクティベーションを完了するまで、印刷、保存、エクスポートはできません。アクティベーションを行うには、プロダクトキーとメールアドレスを入力します。処理が完了したら、Notion の使用を開始できます。



Notion ソフトウェアと組み合わせての使用に 最適な Notion for iOS

Notion をコンピューターと iPad/iPhone の両方でご使用になる場合、iCloud や Dropbox を使用することでファイルをシームレスに共有できます。これなら、出先でもプロジェクトの作業が行えます。いずれかのプラットフォームでスコアを編集、プレイバックし、別のプラットフォームに送信して同じファイルを使用して作業を続行できます。

詳しくは www.presonus.com をご覧いただくか、App Store にて Notion をご検索ください。



PreSonus Studio One と一緒に使用して それぞれのベストを活用

Notion 6 には、賞に輝く PreSonus の DAW である Studio One とのシームレスなデータ転送機能が搭載されています。同一マシンまたはネットワーク上の Studio One と Notion の間で、オーディオ、ノート、ドキュメントデータを双方向に共有できます。

Studio One 無償デモ版をお試しください。 my.presonus.com アカウントからご入手いただけます。

Notion のメインウィンドウ

作業のほとんどは Notion ウィンドウで行います。Notion ウィンドウには、さまざまなコントロール、パレット、インジケーターがありますが、ここでそのうちのいくつかを紹介します。

A NTempo: このアイコンを選択すると、NTempo でスコアの再生をコントロールできます。

B トランスポート: 再生と録音のコントロールを操作します。

C 楽器名: 譜表ごとに楽器の名前が表示されます。

D スコアエリア: 実際の楽譜が表示されます。楽器数は必要に応じて変更できます。

E 入力パレット: ほとんどの記号をクリック操作ひとつで入力できます。



ツールバー

ツールバーのアイコンからは、よく使用するツールに簡単にアクセスできます。



A - 手書き入力: スコアエリアに音符を直接入力します。また、オプションの手書きズームエリアをオンにすることもできます。

B - バーチャルキーボード: インタラクティブな鍵盤を使用して、音符や和音を入力したり、メロディを試聴したりできます。

C - バーチャルドラムパッド: ステップ入力でドラムや音高を入力できます。

D - バーチャルフレットボード: インタラクティブな指板を使用して、音符や和音を入力したり、メロディを試聴したりできます。

E - 和音ライブラリ: 和音やコードダイアグラムを選択し、スコアに挿入できます。

F - スコアセットアップ: このボタンを押して、スコアに譜表をすばやく追加、変更、編集、削除できます。

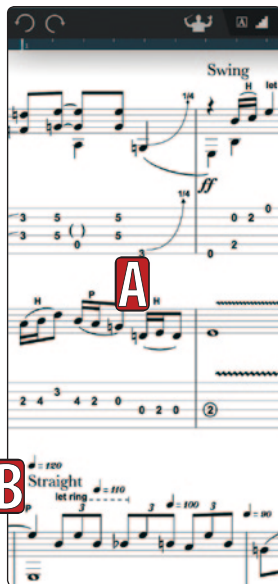
G - ミキサー: このボタンをクリックしてオーディオミキサーコンソールを開き、各楽器のオーディオの調整、エフェクトの編集、出力の外部装置へのルーティングなどが行えます。

ギター、ベース、その他のフレット楽器

タブ譜の方がお好みですか？ Notion なら問題ありません。タブ譜表、バーチャルフレットボード、インタラクティブなコードライブラリを使用して、最新のアイデアをとらえることができます。

A ベンド、スライド、ハンマリングオン、プリングオフ、タップ、スラップ、ピブラート、ハーモニクスなどの一般的な奏法を入力できます。

B タブ譜に行った編集は楽譜に、楽譜に行った編集はタブ譜にそれぞれ反映されます。

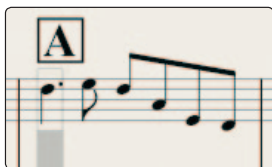
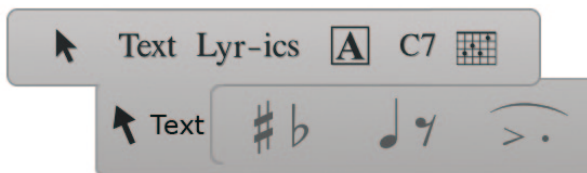


入力パレット

入力パレットのポップアップオプションを使用すれば、スコアに配置する記号をすばやく選択できます。デフォルトでは、パレットは NTempo モードから編集モードに切り替えるとスコアエリア下部に自動的に表示されますが、スコア内にカーソルがある際に右クリックするとパレットが表示されるよう設定することもできます（[移動] > [ウィンドウ] > [パレットを表示]）。

スコアに楽譜記号を追加する

下部のいずれかのペインにマウスオーバーすると、オプションを表示するウィンドウが開きます。



オプションにマウスオーバーすると、さらに詳しい情報がツールチップに表示されます。クリックして使用する記号を選択します。

この記号がカーソル（ミュージックカーソル）に表示されました。記号を正しい位置に配置しましょう（左図参照）。スコアに追加するには、マウスクリックするか、ENTER キーを押します。このように、操作はとても簡単です。

スコアセットアップ

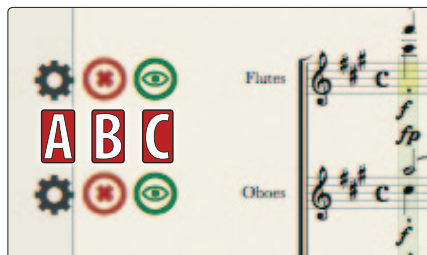


ボタンをクリックすると、この機能が表示されます。スコアセットアップでは、譜表をすばやく追加、変更、削除できます。表示 / 非表示の切り替え、順序のカスタマイズ、外観の変更、複数の譜表に割り当てられている楽器の変更も行えます。

A スコア設定 — スコアセットアップのオプションを開きます。

B 楽器を削除 — スコアから楽器を削除します。

C 楽器の表示 / 非表示 — スコア内の楽器の表示 / 非表示を切り替えます。



楽器、パート名、省略名を変更



楽器設定および記譜設定を変更



譜表や楽器を追加する

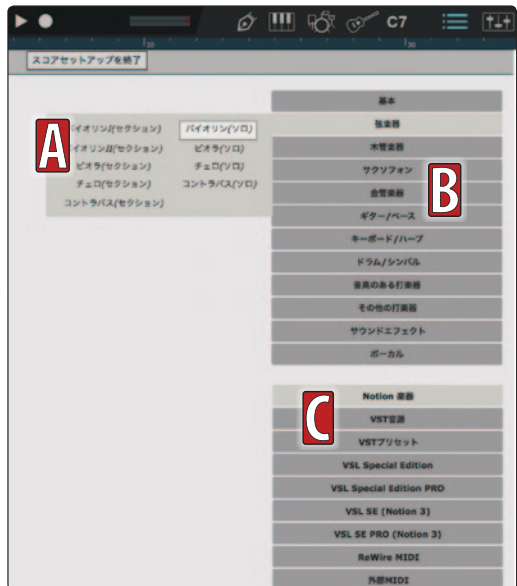
新しい譜表を追加するプロセスに、楽器の割り当てがあります。下から上を選択していきます（図の付記を参照）。

- 1 Notion 内蔵楽器などの音源をクリックします。
- 2 楽器ファミリーにマウスオーバーします。
» 楽器のサブメニューが表示されます。
- 3 楽器をクリックします。
» 新しい譜表が作成され、楽器がこの譜表に割り当てられます。

こうして譜表をすばやく追加できます。スコアセットアップを終了するには、一番上の「スコアセットアップを終了」ボタンを押すか、ESC キーを押します。

- A 楽器 — 割り当てたい楽器をクリックします。
- B 楽器ファミリー — 下で選択した音源に応じてオプションが変化します。
- C ライブラリオプション — ご使用のコンピューターに現在インストールされているオプションが表示されます。

追加の楽器、サウンドエフェクト、奏法をダウンロードできます。Expansion Sounds について詳しくは Web サイトをご覧ください：shop.presonus.com/products/software



スコアエリア

楽器数もページ数も無制限で、高度なカスタマイズが可能です。フルスコアでも、一部の楽器を選択しても作業できます。また、単一の楽器をすばやく編集、印刷することもできます（メニューから【スコア】>【ダイナミックパート】を選択します）。

A 連続ページ表示 — Notionのページ表示には3種類あります。

右は連続表示の例です。この「手動スクロールなし」オプションでは、改ページがなく、スコアが連続して表示されます。

ページ表示を変更するには、メニューから【表示】を選択します。メニューの一番上には、【連続】【ページ横】【ページ下】のオプションがあります。

B マージン — 【連続】 ページに重ねて表示されるこのマージンには、現在の調号と拍子記号が表示され、楽器が赤色のテキストで示されます。

C プレイバックマーカー — すべてのページで大譜表にわたって表示されるこの緑色のマーカーは、現在の再生位置を示します。マーカーが一番右に移動すると、スコアの表示が自動でジャンプします。

The screenshot displays a music score interface with multiple staves. The staves are labeled with instrument abbreviations: Hon., Camp., Vias., and Cb. The score is in a key signature of one flat and a common time signature (C). A vertical green line, labeled 'C', indicates the current playback position. A red box labeled 'A' highlights the continuous page display mode, and another red box labeled 'B' highlights the margin area where the instrument name and key signature are shown in red text. The bottom of the interface shows a control bar with a text cursor, a key signature selector (one flat), a time signature selector (common time), and a playback control icon.

ミキサー

ハードウェアコンソールと同様に機能しますが、配線の心配はありません。インストールメントごとに1つのチャンネルストリップと、4つのバス、マスターチャンネルストリップがあります。ツールバーのミキサーボタンをクリックすると別ウィンドウが開きます。

A これらの楽器ファミリーボタンで、希望のチャンネルストリップをすばやく見つけることができます。

B センド - チャンネルストリップのサウンドの一部を1つまたは複数のバスへと送信します。

C パワーパンニング - 左 / 右の配置だけでなく、広がり範囲も指定できます。

D 出力 - このストリップのサウンドの出力先をクリックして決定します。マスターまたは外部デジタルチャンネルのいずれかを選択します。

E インサート - エフェクト (リバブやディストーションなど) を各インストールメントに置いたり、1つまたは複数のバスに置いて選択した楽器間で共有したりします。

F ソロ / ミュート - 作曲中やリハーサル中に問題のある箇所を分離しておくのに最適です。簡単なクリック操作で複数の楽器のソロやミュートを設定できます。

G マスター - グローバルボリューム、パンニング、エフェクトです。



ヘッズアップディスプレイ – ヘッズアップ (HUD) ディスプレイ オプション (NTempo モードで使用可能) には、現在の再生状態が表示されます。

この例では：

- **A** – 現在のリハーサルマーク。
- **1/4** – プレイバックマーカは 4 拍小節のいずれかの拍の上にあります。
- **15** – プレイバックマーカは第 15 小節にあります。
- **130 130** – 小さな数字は記載のテンポを示します。大きな数字は現在のテンポを示します。
- 一番下のタイムコードは、時：分：フレームで表示されます (30 フレーム / 秒)。



The image shows a screenshot of a music player's HUD (Heads-Up Display) overlaid on a musical score. The HUD is a dark rectangular box with white text. It displays the following information:

- Tempo: 1/4
- Current tempo: 15
- Target tempo: 130
- Current tempo: 130
- Timecode: 00:00:26:06

The musical score in the background shows a piano part with a green vertical line indicating the current playback position at measure 15. A small 'A' icon is visible in the top left corner of the score area.

バーチャル楽器

バーチャル楽器では、デューレーションを選択して楽器上で音符をクリックすることで、音符 / 和音を入力または試聴できます。



- A** 単音（メロディ）または複音（和音）のどちらで入力するかを選択します。
- B** バーチャル楽器で選択しながら音符を入力するには、鉛筆アイコンを選択します。
- C** バーチャル楽器で音符を試聴するには、スピーカーアイコンを選択します。
- D** 音符を入力 / 試聴（バーチャルキーボードのみ）したいオクターブを選択します。










バーチャルドラムパッドは、他のバーチャル楽器と同様に機能しますが、ドラムライブラリが追加されています。ドラムライブラリを使用するには、スタイル（ファンク、ジャズ、ロック、またはワールド）を選択し、パターンを選択し、スコア内をクリックして配置します。

NTempo または **編集モード** - Notion の動作モードには、変更を行える編集モードと、編集機能がオフになり特定の再生モードが有効になる **NTempo** モードがあります。モードを変更するには、**NTempo** ボタンをクリックします。



トランスポート

(一般的なタスクに対するオプションボタンです)

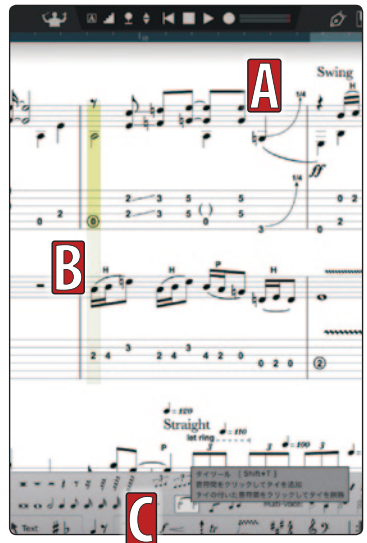
-  巻き戻し – 1回クリックすると、前回再生を開始した位置に戻ります。2回クリックすると、先頭に戻ります。
-  停止 – 再生を停止します。位置は移動しません。
-  再生 – Notion がスコア内のメトロノーム記号を使用してテンポを決定しスコアを再生します。
-  リアルタイム録音 – クリックすると、ユーザーの MIDI デバイス演奏に従って Notion が記譜を始めます。
-  ステップ録音 – クリックすると、ステップ単位で MIDI デバイスから楽譜を入力できます。フレットボードでも使用できます。
-  テンポオーバーダブ – NTempo 機能を使用して、拍ごとにテンポを指定したり編集したりできます。スコア内のメトロノーム記号の数を減らすためにも使用できます。
-  メトロノーム – 再生中にメトロノームが聞こえるかどうかを選択します。

A ツールバー – ウィンドウ上部にある、さまざまなコントロールが表示されたストリップ

B 編集マーカー – スコア内の現在の位置を分かりやすく表示

C ツールチップ – 記号の意味が分からないときは、このウィンドウの情報を参考にしましょう。ここにはキーボードショートカット情報も表示されます。

ビューのカスタマイズ – ページの表示方法やフォントサイズの変更、ジャズのリードシートフォントへの切り替え、ズーム、小節番号の表示位置の指定、前後へのジャンプ移動が可能です。



手書き

音符入力ツールとして手書き入力を使用できるようになりました。スコアに直接入力したり、ポップアップの手書き入力エリアに入れたりできます。Notion の手書き入力エンジンは MyScript™ を使用しています。このエンジンは数千に及ぶさまざまな手書きスタイルを分析して作成されているため、カスタムジェスチャーを学んだり、ユーザーのスタイルをソフトウェアに学習させる必要はありません。手書き認識は標準の楽譜譜表で使用でき、パーカッション譜表やタブ譜では使用できません。

スコアに直接書き込む



手書きツールアイコンをクリックします。これで、スコアエリアに直接フリーハンドで描画することができます。描画が終わると、Notion は数秒間待ってから、手書き入力の内容をデジタル記譜へと変換します。

スコアエリア内を移動するには、スクロールバーを使用するか、Microsoft Surface または Mac Trackpad で 2 本指でスコア上をスワイプします。

ズームするには、キーボードショートカットを使用する (Ctrl/Cmd と + または -) か、Microsoft Surface または Mac Trackpad で 2 本指でスコア上をピンチイン / ピンチアウトします。

手書きエリアに書き込む



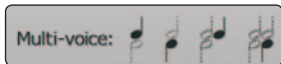
手書きツールアイコンをクリックします。「虫眼鏡」アイコンが表示されます。これをクリックすると、画面下に手書きエリアが表示 / 非表示されます。この入力オプションは、ズームインやズームアウトの回数が増えがちな大型のスコアに書き込む場合や、MIDI 録音やステップタイム入力など他の音符入力方法と手書きを組み合わせる場合に特に便利です。

メインスコアエリアの小節をクリックすると、手書きエリアがその位置にジャンプします。これで描画できるようになります。描画が終わると、Notion は数秒間待ってから、手書き入力の内容をデジタル記譜へと変換します。

描画する

Notion は、音符、休符、和音、アーティキュレーション、小節線、臨時記号、拍子記号、加線、スラー、タイ、音部記号を変換できます。

声部



異なる声部に書き込むには、パレット上で声部を選択するか、ショートカット Cmd / Ctrl + x (x には声部を示す 1 ~ 4 の数字が入る) を使用します。

削除



塗りつぶして削除することができます。音符を削除するには、符頭を塗りつぶします。また、選択して delete キーを押してもかまいません。

圧力

Microsoft Surface では、描画される線の太さは、画面上のスタイラスの圧力に呼応します。これにより、より自然な描画感とより正確な検出結果が得られます。

... タッチスクリーンを持っていない場合

タッチスクリーンなしで手書き検出を使用するためのアイデアについては、ナレッジベースをご覧ください。

Supported Handwriting Score Elements:

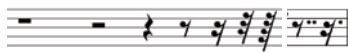
Clefs:



Note durations:



Rest durations:



Tuplets:



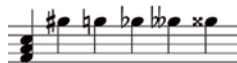
Time signatures:



Bar lines/Repeats:



Chords / Accidentals:



Tip! Keep the sharp sign small when writing

Ties/Slurs:



Articulations:



Ledger lines:



Studio One との相互運用性

それぞれの長所を活用 ...

単独あるいはコラボレーションでのワークフローで DAW と記譜ソフトウェアの両方を使用している方に、PreSonus は音楽アイデアをやりとりする新しい方法を提供しています。Studio One をお持ちでない場合、my.presonus.com アカウントからデモ版をご利用いただけます。

オーディオを Studio One に送信する



オーケストラサウンドを Studio One に送信してミキシングを行いたい? ReWire の使用を終えて、プロジェクトを仕上げたい? オーディオを、同一コンピューター上で実行する Studio One (バージョン 3.3 以降)、またはネットワーク上で開いている Studio One インスタンスに直接送信できるようになりました。

1. 同日マシン上、または同一ネットワークのマシン上で、Studio One を開きます。
2. Notion で、[ファイル] > [Studio One に送信] (または Cmd/Ctrl + Shift + U) を選択します。
3. Notion がオーディオをバウンスして Studio One に転送し、Studio One 上に新規ドキュメントが自動的に開きます。
4. Studio One 上の新規ドキュメントは完全にスコア順となり、ファイル名、楽器名、テンポ、拍子記号、リハーサルマーク、楽器ボリューム、パンニングが含まれています。

スコア全体ではなく、抜粋や短いアイデアを送信したい場合、まずスコア内で範囲を選択してから Studio One ダイアログを開きます。

音符データを Studio One に送信する

楽譜で作曲するタイプだが、最終的には DAW を使用する必要がある? Notion で作曲したノートデータ (MIDI およびその他のノート関連情報) を、同一コンピューター上で実行する Studio One (バージョン 3.3 以降)、またはネットワーク上で開いている Studio One インスタンスに直接送信できるようになりました。

1. 同一マシン上、または同一ネットワークのマシン上で、Studio One を開きます。
2. Notion で、[ファイル] > [Studio One に送信] (または Cmd/Ctrl + Shift + U) を選択します。
3. Notion がノート情報を Studio One に転送し、Studio One 上に新規ドキュメントが自動的に開きます。
4. Studio One 上の新規ドキュメントは完全にスコア順となり、サウンドをアサインできます。ピッチとデュレーションだけでなく、Notion はドキュメント名、楽器名、テンポ、拍子記号、リハーサルマークも送信します。

スコア全体ではなく、抜粋や短いアイデアを送信したい場合、まずスコア内で範囲を選択してから Studio One ダイアログを開きます。

Notion で Vienna Symphonic Library などのサードパーティ製 VST インストゥルメントを使用している場合、プリセット情報も送信され、その VST が Studio One に自動的にロードされます。

Studio One から Notion に送信する



この機能は双方向で使用可能です。Studio One バージョン 3.3 以降で、[Notion に送信] を選択できるようになりました。選択されているトラックまたはドキュメント全体のオーディオまたはノートデータを送信できます。

ユーザー登録とお問い合わせ

ユーザー登録

日本国内での各種サービスや技術的なサポートを受けるためには、エムアイセブンジャパンのMI7マイページにてユーザー登録を行ってください。これにより、各種サービス、製品保証、技術的なサポートを受けることができ、登録ユーザー限定のクーポンや各種コンテンツ等を入手することもできます。是非ご登録ください。

- ▶ www.mi7.co.jp/my/



エムアイセブンジャパンでは、製品情報、スペシャルオファー、インタビュー / 導入事例、イベント、キャンペーンなどの最新情報を「MI7 Japan Newsdesk」と題し HTML メールにてお届け致しております（登録無料）。また、最新情報を Facebook や Twitter でも配信しております。是非ご登録ください。

- ▶ メールニュース www.mi7.co.jp/service/
- ▶ facebook.com/mi7japan
- ▶ twitter.com/mi7japan

お問い合わせ

PreSonus 製品に関するご質問および修理等がある場合には、オンライン・フォームからお問い合わせください。

- ▶ www.mi7.co.jp/service/



© 2016 PreSonus Audio Electronics, Inc. 無断複写・転載を禁じます。Notion は PreSonus Audio Electronics, Inc. の商標または登録商標です。Capture、Impact、Mixverb Presence、RedLightDist、SampleOne、Studio One および Tricomp は PreSonus Software Ltd. の商標または登録商標です。Mac および Mac OS は米国およびその他の国における Apple, Inc. の登録商標です。Windows は米国およびその他の国における Microsoft, Inc. の登録商標です。本書に記載のその他の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。すべての仕様は予告なく変更する場合があります。

日本語マニュアル制作：株式会社エムアイセブンジャパン

2016.8 制作 第一版



Competence and Passion for the Media Industry.

